

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学年	1年生	担当教員	鈴木晴奈	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC対策 I	時間数	136単位時間	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標 科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け 9月のTOEIC公開テストで600点、11月のTOEIC公開テストで700点をを目指す				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
授業の進め方・学習方法・課題 問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴 貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	準2級の重要名詞①	5月受験対策
学 科 名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	準2級の重要名詞②	5月受験対策
学 年	1年	担当教員	皆川・寺田	3	準2級の重要動詞①	5月受験対策
科 目 名	English Strategy 英検対策 I	時間数	136単位時間	4	準2級の重要動詞②	5月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	準2級の重要形容詞・副詞	5月受験対策
使用テキスト名	2024年度版 英検準2級過去問題集			6	準2級の重要前置詞・接続詞	5月受験対策
補助教材	スタディサプリ TEPPAN単語			7	準2級の重要熟語	5月受験対策
				8	準2級の重要会話表現	5月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	自動詞と他動詞	5月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				10	注意すべき時制	10月受験対策
				11	注意すべき受け身	10月受験対策
				12	助動詞①	10月受験対策
				13	助動詞②	10月受験対策
				14	評価テスト	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	仮定法	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	動名詞	10月受験対策
				17	分詞構文	10月受験対策
				18	関係詞	10月受験対策
				19	比較	10月受験対策
				20	長文読解	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	英作文問題①	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	英作文問題②	1月受験対策
				23	英作文問題③	1月受験対策
				24	リスニング 会話表現①	1月受験対策
				25	リスニング 会話表現②	1月受験対策
				26	リスニング 説明文	1月受験対策
				27	リスニング問題のテクニック①	1月受験対策
				28	リスニング問題のテクニック②	1月受験対策
				29	総合テスト①	1月受験対策
				30	総合テスト②	1月受験対策
				31	総合テスト③	1月受験対策
				実務経験教員の経歴		
				33	2次面接対策②	1月受験対策
				34	評価テスト	評価

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 1: People	Meet people; Ask personal info
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2		Describe people & occupations; compare
学年	1年	担当教員	Mark, Maya	3	Unit 2: A day in the Life	Talk about typical day; free time
科目名	Speaking I	時間数	68単位時間	4		Describe special days, hobbies, interests
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5		Plan a party (Group work)
使用テキスト名	Talk A Intermediate			6	Unit 3: Going Places	Possessions, Travel info, Ask & Give advice
補助教材				7		Describe a place & Plan a vacation
				8		Give presentaion about a vacation
科目概要と科目到達目標				9	Review: Vocab & Speaking	Q & A about your Vacation plan!
科目到達目標: Outputにフォーカスを置き、発音、聞き取りを総合的に習い、スピーキング力向上を図る。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				10	Unit 4: Food	Recipe, menus, ordereing
				11		Talk about diets, Plan a farm or garden
				12		Role play: in a resturant, ordering online
				13	Unit 5: Sports	Activities, favotire sports, compare
				14		Frequency of activity, survey
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review: Vocab & Speaking	More role play for activities (Sports or Food)
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで発表しながら基本的な形式をマスターする 対面授業と遠隔授業の併用実施				16		Review vocab & Grammar
				17	Test (First five unit test)	Test
				18	Unit 6: Destinations	Past vacations, weekend; asking about places
				19		Fdescribe qan Ancient place; find and share info online
				20	Unti 7: Communication	Personal communication, exchanging info
評価方法・成績評価基準				21		Describe sights, sounds & other sensations
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Unti 8: Making Plans	Short term or long term, Predictions or opinions about future
				23		Solve problems; discuss personality
				24	Review: Vocab & Speaking	Group presentation (Introduction)
				25		Give presentaion about the future; Q&A
				26	Unti 9: Types of Clothing	Compare and buy clothes, Role play shopping
				27		Describe and discuss fashion
				28	Unti 10: Lifestyles	Discuss healthy & unhealthy habits
				29		Lifetyles & Happiness
				30	Unti 11: Achievements	Interview for job, Talk about self achievements
				31		Plan for success, write resume (English)
実務経験教員の経歴				32	Review: Vocab & Speaking	Prepare for final test
				33		Role play interview
				34		Vocab & Grammar test

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文字	文字を覚え、正しい発音を身に付ける
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	初級1:1課 自己紹介とあいさつ	自己紹介ができる あいさつができる
学年	1年生	担当教員	朴・李貞華・金・柳・平山・中林	3	初級1:2課 物の名前	物の名前を覚える
科目名	韓国語Ⅰ(コミュニケーション)	時間数	85単位時間	4	初級1:3課 状態や感情・曜日	状態や気持ちを表現できる。曜日を覚える
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	初級1:4課 行動	行動について話せる
使用テキスト名	学んですぐ使えるピサン韓国語初級1・初級2			6	初級1:5課 場所	場所について話せる
補助教材	学んですぐ使えるピサン韓国語ワークブック初級1・初級2			7	初級1:6課 数字	数字を覚える
				8	初級1:7課 過去について話す	過去のできごとについて話せる
科目概要と科目到達目標				9	初級1:8課 病院	病院で症状が言える
韓国語と韓国文化初級1・初級2を使用し会話中心の授業を行う。授業の最後にはタスク(課題)を与え、各課の学習目標(例えば「道を尋ねる」「注文する」など)に沿ってコミュニケーションを図れるよう練習を行う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	初級1:9・10課 飲食店にて	店で注文ができるようになる
				11	初級1:11課 予定	予定について話せる
				12	初級1:12・13課 特徴・旅行	特徴について話せる。旅行先でしたいことを話せる
				13	初級1:14・15課 習慣・天気	習慣について話せる。天気について話せる
				14	初級1:16・17課 引越越し・授業	引越越し・授業での表現を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	初級1:18・19課 約束・交通手段	約束ができる。交通手段の問い合わせができる
授業は韓国語ネイティブとノンネイティブが主に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。				16	初級1:20課 学校・就職	学校生活・就職準備について話せる
				17	前期試験	
				18	初級2:1課 公式的な挨拶	公式的な場での挨拶ができる
				19	初級2:2・3課 体調・趣味	体調・趣味について話せる
				20	初級2:4課 面接	面接での受け答えができる
評価方法・成績評価基準				21	初級2:5課 経験	自分の経験について話せる
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	初級2:6・7課 約束・意思の伝達	約束・意思の伝達ができる
				23	初級2:8課 道案内	道が案内できる
				24	初級2:9・10課 買い物・生活習慣	買い物ができる。生活習慣を話せる
				25	初級2:11課 理想像	理想像について話せる
				26	初級2:12課 外食	韓国料理の味やマナーについて話せる
				27	初級2:13課 映画	映画のあらすじが話せる
				28	初級2:14・15課 会社・職業	会社・職業について話せる
				29	初級2:16課 マナー・電話	電話での表現を学ぶ
				30	初級2:17課 韓国文化	パンマルで話せる
				31	初級2:18課 トラブルの対処	故障などのトラブルを解決するための表現ができる
実務経験教員の経歴				32	初級2:19課 会社生活	会社生活について話せる
				33	初級2:20課 学校生活	学校生活について話せる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文字	文字を覚える
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	初級1:1課 主語・助詞・叙述	基本品詞について学ぶ
学年	1年生	担当教員	朴仁智・柳昌雲・宇都宮・中林	3	初級1:2課 指示代名詞	指示語を用いて物を示す
科目名	韓国語Ⅰ(文法)	時間数	51単位時間	4	初級1:3課 形容詞	形容詞の表現を学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	初級1:4課 動詞	動詞の表現を学ぶ
使用テキスト名	学んですぐ使えるビサン韓国語初級1・初級2			6	初級1:5課 ㄹ副規則	ㄹ副規則について学ぶ
補助教材	学んですぐ使えるビサン韓国語ワークブック初級1・初級2			7	初級1:6課 勧誘・数字	勧誘の表現・数字について学ぶ
				8	初級1:7課 過去形	過去についての表現を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	初級1:8課 要請・否定	要請する表現・否定の表現について学ぶ
韓国語と韓国文化初級1・初級2使用し文法中心の授業を行う。授業の最後にはタスク(課題)を与え、各課の学習目標(例えば「道を尋ねる」「注文する」など)に沿ってコミュニケーションを図れるよう練習を行う。				10	初級1:9・10課 手段・目的・依頼	手段と目的・依頼の表現について学ぶ
				11	初級1:11課 並列・予定	並列・予定についての表現を学ぶ
				12	初級1:12・13課 希望・仮定	希望・仮定の表現を学ぶ
				13	初級1:14・15課 義務・感嘆	義務・感嘆の表現について学ぶ
				14	初級1:16・17課 因果表現・逆接	因果表現・逆接表現について学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	初級1:18・19課 疑問・勧誘・ㄷ不規則	疑問・勧誘の表現・ㄷ不規則について学ぶ
授業は韓国語ネイティブとノンネイティブが交互に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	初級1:20課 意図	意図の表現について学ぶ
				17	前期試験	
				18	初級2:1課 丁寧な表現	丁寧な表現について学ぶ
				19	初級2:2・3課 ㄹ不規則・推測	ㄹ不規則・推測の表現について学ぶ
				20	初級2:4課 推測の疑問形	推測の疑問表現について学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	初級2:5課 可能	可能の表現について学ぶ
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	初級2:6・7課 原因・進行形	原因・進行形について学ぶ
【成績評価基準】				23	初級2:8課 尊敬	尊敬表現について学ぶ
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	初級2:9・10課 理由・動作や状態の並列	理由・動作や状態の並列について学ぶ
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	初級2:11課 意思	意思の表現について学ぶ
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	初級2:12課 形容詞の連体形	形容詞の連体形について学ぶ
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	初級2:13課 動詞の連体形	動詞の連体形について学ぶ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	初級2:14・15課 仮定・経験	仮定・経験の表現について学ぶ
				29	初級2:16課 許可	許可の表現について学ぶ
				30	初級2:17課 パンマル表現	パンマル表現について学ぶ
				31	初級2:18課 前置き・逆接	前置き・逆接表現について学ぶ
実務経験教員の経歴				32	初級2:19課 同時進行	2つの動作を同時に行う際に使う表現を学ぶ
				33	初級2:20課 状態の変化	状態の変化の表現について学ぶ
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文字	文字を覚える
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	初級1:1課 自己紹介とあいさつ	自己紹介とあいさつが聞き取れる
学年	1年生	担当教員	李貞華・金ボヨン・平山・中林	3	初級1:2課 物の名前について	物の名前が聞き取れる
科目名	韓国語 I (聴解)	時間数	51単位時間	4	初級1:3課 状態や感情の表現	気持ちについて聞き取れる
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	初級1:4課 日課	日課についての文が聞き取れる
使用テキスト名	学んですぐ使えるピサン韓国語初級1・初級2			6	初級1:5課 場所	場所について聞き取れる
補助教材	学んですぐ使えるピサン韓国語ワークブック初級1・初級2			7	初級1:6課 数字	数字を聞き取れる
				8	初級1:7課 過去について	過去についての文が聞き取れる
科目概要と科目到達目標				9	初級1:8課 病院	病院についての文が聞き取れる
韓国語と韓国文化初級1・初級2を使用し聞取り中心の授業を行う。授業の最後にはタスク(課題)を与え、各課の学習目標(例えば「道を尋ねる」「注文する」など)に沿ってコミュニケーションを図れるよう練習を行う。				10	初級1:9・10課 飲食店	飲食店についての文が聞き取れる
				11	初級1:11課 予定について	予定についての文が聞き取れる
				12	初級1:12・13課 性格・旅行	性格・旅行についての文が聞き取れる
				13	初級1:14・15課 習慣・天気	習慣・天気についての文が聞き取れる
				14	初級1:16・17課 引越越し・授業	引越越し・授業についての文が聞き取れる
授業の進め方・学習方法・課題				15	初級1:18・19課 約束・交通手段	約束・交通手段についての文が聞き取れる
授業は韓国語ネイティブが主に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	初級1:20課 学校・就職	学校・就職についての文が聞き取れる
				17	前期試験	
				18	初級2:1課 公式的な挨拶	公式的な挨拶についての文が聞き取れる
				19	初級2:2・3課 体調・趣味	体調・趣味についての文が聞き取れる
				20	初級2:4課 面接	面接についての文が聞き取れる
評価方法・成績評価基準				21	初級2:5課 経験	経験についての文が聞き取れる
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	初級2:6・7課 約束・意思の伝達	約束・意思の伝達の文が聞き取れる
				23	初級2:8課 道案内	道案内についての文が聞き取れる
				24	初級2:9・10課 買い物・生活習慣	買い物・生活習慣についての文が聞き取れる
				25	初級2:11課 理想像	理想像についての文が聞き取れる
				26	初級2:12課 外食	外食についての文が聞き取れる
				27	初級2:13課 映画	映画についての文が聞き取れる
				28	初級2:14・15課 会社・職業	会社・職業についての文が聞き取れる
				29	初級2:16課 マナー・電話	電話の内容が聞き取れる
				30	初級2:17課 韓国文化	韓国文化についての文が聞き取れる
				31	初級2:18課 トラブルの対処	トラブル対処についての文が聞き取れる
実務経験教員の経歴				32	初級2:19課 会社生活	会社生活の文が聞き取れる
				33	初級2:20課 学校生活	学校生活の文が聞き取れる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文字	文字を覚える
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	初級1:1課 自己紹介とあいさつの文章を読む	自己紹介とあいさつが読める
学年	1年生	担当教員	李貞華・柳昌雲・金ボヨン・中林	3	初級1:2課 物の名前についての文章を読む	物の名前が読める
科目名	韓国語Ⅰ(読解)	時間数	51単位時間	4	初級1:3課 状態や感情の表現の文章を読む	気持ちについての文が読める
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	初級1:4課 日課についての文章を読む	日課についての文が読める
使用テキスト名	学んですぐ使えるピサン韓国語初級1・初級2			6	初級1:5課 場所についての文章を読む	場所についての文が読める
補助教材	韓国語と韓国文化ワークブック初級1・初級2			7	初級1:6課 数字に関する文章を読む	数字に関する文が読める
科目概要と科目到達目標 韓国語と韓国文化初級1・初級2を使用し読解中心の授業を行う。 看板や簡単な案内文、家族や故郷など周りのことを表す文章を理解することができる。				8	初級1:7課 過去についての文章を読む	過去についての文が読める
				9	初級1:8課 病院についての文章を読む	病院についての文が読める
				10	初級1:9・10課 飲食店についての文章を読む	飲食店についての文が読める
				11	初級1:11課 予定についての文章を読む	予定についての文が読める
				12	初級1:12・13課 性格・旅行についての文章を読む	性格・旅行についての文が読める
				13	初級1:14・15課 習慣・天気についての文章を読む	習慣・天気についての文が読める
				14	初級1:16・17課 引越・授業についての文章を読む	引越・授業についての文が読める
授業の進め方・学習方法・課題 授業は韓国語ネイティブとノンネイティブが交互に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				15	初級1:18・19課 約束・交通手段についての文章を読む	約束・交通手段についての文が読める
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	初級1:20課 学校・就職についての文章を読む	学校・就職についての文が読める
				17	前期試験	
				18	初級2:1課 公式的な挨拶の文章を読む	公式的な挨拶についての文が読める
				19	初級2:2・3課 体調・趣味についての文章を読む	体調・趣味についての文が読める
				20	初級2:4課 面接についての文章を読む	面接についての文が読める
				21	初級2:5課 経験についての文章を読む	経験についての文が読める
				22	初級2:6・7課 意志表現・推測の表現の文章を読む	意志表現・推測の文が読める
23	初級2:8課 道案内についての文章を読む	道案内についての文が読める				
24	初級2:9・10課 買い物・生活習慣の文章を読む	買い物・生活習慣についての文が読める				
25	初級2:11課 理想像についての文章を読む	理想像についての文が読める				
26	初級2:12課 外食についての文章を読む	外食についての文が読める				
27	初級2:13課 映画についての文章を読む	映画についての文が読める				
28	初級2:14・15課 会社・職業についての文章を読む	会社・職業についての文が読める				
29	初級2:16課 マナー・電話の文章を読む	公共機関についての文が読める				
30	初級2:17課 韓国文化についての文章を読む	韓国文化についての文が読める				
31	初級2:18課 トラブルの対処についての文章を読む	トラブル対処についての文が読める				
実務経験教員の経歴				32	初級2:19課 会社生活についての文章を読む	会社生活の文が読める
				33	初級2:20課 学校生活についての文章を読む	学校生活の文が読める
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	接続詞・否定・原因と理由	接続詞・否定・原因と理由の文章が書ける				
学年	1年生	担当教員	中林幸恵	2	連体形・可能・形容詞の副詞化/文章の構成	連体形・可能・形容詞の副詞化を使用して文章が書ける。文章の構成を理解して文章を組み立てられる。				
科目名	韓国語文章表現 I	時間数	17単位時間	3	한다体の語尾・助詞・副詞/正書法と分かち書き	한다体の語尾・助詞・副詞を使用して文章が書ける。正書法と分かち書きを理解して文章が書ける。				
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	4	希望の表現・文章の連結/原稿用紙の使い方	希望の表現・文章の連結を使用して文章が書ける。原稿用紙を正しく使用できる。				
使用テキスト名	外国人のための韓国語作文基礎			5	義務の表現・作文における文中・文末表現	義務の表現・作文における文中・文末表現を使用して文章が書ける。				
補助教材	TOPIK試験対策 作文			6	手紙に使う表現	手紙の表現・間接話法の表現をつかって文章が書ける				
科目概要と科目到達目標 初中級の語彙と文法を用いて分かりやすい文章を書くことができる。 文章を構成し、順序立てて考えを表現することができる。 합니다体と한다体いずれの文章を書くことができ、適切な助詞や語尾を使うことができる。				7	韓国語らしい表現	日本語的な表現を認識し韓国語らしい表現で文章が書ける				
				8	数値データの説明文	グラフや調査結果についての説明文が書ける				
				9	漢字語を使った表現	漢字語を使用して文章が書ける				
				10	インタビューの文章表現	間接表現を使用してインタビュー文章が書ける				
				11	道順説明文	道順を説明文章が書ける				
				12	日本文化紹介文	日本の文化を韓国語で紹介する文章が書ける				
				13	長所と短所について文章を書く	自身の長所と短所についての文章が書ける				
				14	環境問題についての文章を書く	環境問題について自分の意見が書ける				
				15	健康についての文章を書く	健康に関する問題やトレンドについての文章が書ける				
				16	国際問題についての文章を書く	国際問題についての文章が書ける				
授業の進め方・学習方法・課題 授業の始めにディクテーションを行い、文章のリズムを身に付ける。 各授業の学習単元を講義し、その後実際に作文を書き、提出する。 提出した課題を添削し、作文能力を養う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	期末試験					
				18						
				19						
				20						
				評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21		
								22		
								23		
								24		
								25		
								26		
27										
28										
29										
30										
実務経験教員の経歴				31						
				32						
				33						
				34						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	ハングル能力検定 初級 必須単語習得	初級単語の把握と暗記
学 年	1年生	担当教員	朴仁智・柳昌雲・平山・中林・宇都宮	2	ハングル能力検定 初級 必須文法解説	初級文法の把握と理解
科 目 名	韓国語検定対策 I	時間数	102単位時間	3	ハングル能力検定 初級 文章読解問題解説	初級文章問題の理解
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	ハングル能力検定 過去問題 模試①	合格点の把握と実力確認
使用テキスト名	TOPIK I II 完全対策	ハングル能力検定過去問題集		5	ハングル能力検定 過去問題 模試②	合格点の把握と実力確認
補助教材	HOT TOPIK I II			6	ハングル能力検定 振り返り / TOPIK初級 単語習得①	ハングル能力検定の振り返り
				7	TOPIK 初級 単語習得②	初級単語の把握と暗記
				8	TOPIK 初級 必須文法解説①	初級文法の把握と理解
科目概要と科目到達目標				9	TOPIK 初級 必須文法解説②	初級文法の把握と理解
6月、11月実施のハングル能力検定と7月、10月実施の韓国語能力試験(TOPIK)の2種類の検定対策。 1年次終了までにハングル能力検定3級とTOPIK3級の取得を目指す。 ハングル能力検定では読解、聴解の2科目のため、①語彙、②文法、③読解、④聴解の授業、 韓国語能力試験は読解、聴解、作文の3科目のため、①語彙、②文法、③読解、④聴解、作文の授業を行う				10	TOPIK 初級 必須文法解説③	初級文法の把握と理解
				11	TOPIK 初級 読解問題解説①	初級文章問題の理解
				12	TOPIK 初級 聴解問題解説②	初級文章問題の理解
				13	TOPIK 初級 聴解問題解説①	初級聴解問題の理解
				14	TOPIK 初級 聴解問題解説②	初級聴解問題の理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	TOPIK 過去問題 模試①	合格点の把握と実力確認
4月～6月はハングル能力試験対策。6月～7月はTOPIK対策という様に試験実施日によって 対策授業内容を変えて行う。また、1年次2年次合同に授業を行い各検定の級別にクラス分けをする。				16	TOPIK 過去問題 模試②	合格点の把握と実力確認
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	TOPIK試験振り返り/ハングル能力検定中級 必須単語習得	TOPIK振り返り
				18	ハングル能力検定 中級文法解説①	中級文法の把握と暗記
				19	ハングル能力検定 中級文法解説②	中級文法の把握と暗記
				20	ハングル能力検定 中級 読解解説①	中級文章問題の理解
評価方法・成績評価基準				21	ハングル能力検定 中級 読解解説②	中級文章問題の理解
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	ハングル能力検定 中級 聴解解説①	中級聴解問題の理解
【成績評価基準】				23	ハングル能力検定 中級 聴解解説②	中級聴解問題の理解
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	ハングル能力検定 過去問題 模試①	合格点の把握と実力確認
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	ハングル能力検定 過去問題 模試②	合格点の把握と実力確認
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	ハングル能力検定 過去問題 模試③	合格点の把握と実力確認
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	ハングル能力検定 振り返り / TOPIK中級 単語習得①	ハングル検定振り返り
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	TOPIK 中級 単語習得②	中級単語の把握と暗記
				29	TOPIK 中級 必須文法解説①	中級文法の把握と暗記
				30	TOPIK 中級 必須文法解説②	中級文法の把握と暗記
				31	TOPIK 中級 読解問題解説①	中級文章問題の理解
実務経験教員の経歴				32	TOPIK 中級 読解問題解説②	中級文章問題の理解
				33	TOPIK 中級 聴解問題解説①	中級聴解問題の理解
				34	TOPIK 中級 聴解問題解説②	中級聴解問題の理解

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	韓国文化入門	韓国の基本情報を理解する
学 科 名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	韓国人の名前	韓国人の名前について学ぶ
学 年	1年生	担当教員	中林幸恵	3	北朝鮮について	北朝鮮と韓国の関係について
科 目 名	韓国社会と文化 I	時間数	34単位時間	4	韓国の家族呼称	韓国特有の家族呼称を学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	韓国の物価	韓国の物価の現状について学ぶ
使用テキスト名	外国人のための韓国文化			6	韓国のスポーツ	韓国の国民的スポーツについて
補助教材	POWERPOINT SLIDE			7	韓国のエンターテインメント	韓国のベストセラーや音楽について
				8	秋夕	韓国の秋夕の意味や仕来りについて
科目概要と科目到達目標				9	韓服	韓服の意味や着付けについて
衣食住、大衆文化を中心に韓国の基本的な文化、またはその背景を学び、理解することができる 現代社会が抱える問題を理解する。ニュースや新聞での表現方法や新語・流行語を学ぶ。				10	韓国映画①	韓国の映画文化について
				11	韓国映画②	韓国映画鑑賞
				12	韓国歌謡①	韓国歌謡の歴史について学ぶ
				13	韓国歌謡②	韓国歌謡を視聴し傾向を学ぶ
				14	韓国の学校	韓国の教育課程について学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	食事のマナー	韓国の食事マナーを理解する
パワーポイントを使用し、一部講義形式で授業を展開する。 映像も使用し、生の韓国語に触れられるよう工夫する。 また毎時間、学生が気になる韓国文化について発表し、 発表の仕方や情報収集方法、着眼点なども身に付ける。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	韓国の食文化	韓国の食文化について理解を深める
				17	前期まとめ	
				18	キムチ	キムチの種類やキムチ文化を学ぶ
				19	韓国の公休日	韓国の公休日について学ぶ
				20	ソウルについて①	ソウルの基本情報について学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	ソウルについて②	ソウルの観光名所について学ぶ
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	韓国の観光地について	観光地・名産品の基本情報について
				23	韓国の軍隊について	韓国の軍隊について学
				24	辞書にない韓国語①	俗語について理解する
				25	辞書にない韓国語②	流行語について理解する
				26	伝統芸能①	伝統芸能を知る
				27	伝統芸能②	伝統芸能に触れる
				28	韓国の方言①	韓国方言の基本情報について学ぶ
				29	韓国の方言②	韓国方言の使用方法を学ぶ
				30	在日コリアン①	在日コリアンについて理解を深める
				31	在日コリアン②	在日コリアンについて理解を深める
実務経験教員の経歴				32	韓国の詩	韓国の詩の特徴や表現方法
				33	後期のまとめ	
				34	文化に関するレポート作成	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	発音の基礎・有声音化・連音化	発音の基礎について学び、有声音化、鼻音化する単語を正しく発音できる。
学年	1年生	担当教員	金ボヨン・朴仁智	2	ㄱの弱音化・無音化・鼻音化	ㄱの弱音化・無音化・鼻音化の単語を正しく発音できる。
科目名	韓国語発音セミナーI	時間数	34単位時間	3	流音化・ㄴ挿入	流音化・ㄴ挿入の単語を正しく発音できる。
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	激音化・濃音化①	激音化・濃音化の単語を正しく発音できる。
使用テキスト名	韓国語の発音変化完全マスター			5	濃音化②・ㄱの発音変化	濃音化・ㄱの発音変化の発音を正しく発音できる。
補助教材	POWERPOINT SLIDE			6	口蓋音化	口蓋音化の発音を正しく発音できる。
科目概要と科目到達目標				7	基本的な発音変化の復習(初級)	基本的な発音変化を正しく発音できる。
				8	ㄴ、ㄹ、ㅇパッチムの発音	ㄴ、ㄹ、ㅇパッチムを正しく発音できる。
韓国の基本的な発音を理解し、習得する。 文章のまとまりを意識した抑揚と強弱ができる。				9	二重パッチムの発音	二重パッチムを正しく発音できる。
				10	韓国語の抑揚①	抑揚を意識して文章を音読できる。
				11	韓国語の抑揚②	抑揚を意識して会話文を音読できる。
				12	対話文朗読①	正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
				13	対話文朗読②	正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
				14	ニュース朗読①	韓国のトレンドに関する記事を朗読できる。
授業の進め方・学習方法・課題				15	ニュース朗読②	調査結果等数字を解説するニュースを朗読できる。
授業前半は講義形式で行い韓国語特有の発音変化を中心に講義し、発音変化を理解させる。				16	前期のまとめ	
後半には、理解した発音変化を実際に発音できるよう反復練習を行う。 遠隔授業のみ実施				17	前期試験	
				18	韓国料理番組の内容を朗読	正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
				19	案内放送の朗読	正しい発音と抑揚を意識して公共交通機関の案内放送を朗読できる。
				20	対話文の朗読①	会社や職業に関する対話を正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
評価方法・成績評価基準				21	対話文の朗読②	スポーツ、天候等のテーマに関する対話を正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	グラフ説明の朗読	グラフの説明を正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
				23	天気予報の朗読	正しい発音と抑揚を意識して天気予報の内容を朗読できる。
				24	ニュースの朗読①	正しい発音と抑揚を意識して環境問題に関するニュースを朗読できる。
				25	ニュースの朗読②	正しい発音と抑揚を意識して経済問題に関するニュースを朗読できる。
				26	ドキュメンタリーナレーション①	健康、動物に関するドキュメンタリーのナレーションを正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
				27	ドキュメンタリーナレーション②	韓国の社会問題や文化に関するドキュメンタリーのナレーションを正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
				28	基本的な発音変化の復習(中級)	中級程度の発音変化を正しく発音できる。
				29	歌詞の朗読①	様々な年代・ジャンルの歌詞を正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
				30	歌詞の朗読②	様々な年代・ジャンルの歌詞を正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
				31	文学作品の朗読①	正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
実務経験教員の経歴				32	文学作品の朗読②	正しい発音と抑揚を意識して朗読できる。
				33	後期のまとめ	
				34	後期 試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	SDGsの基本知識について①	SDGsとは何かを理解する
学年	1年	担当教員	坂上/北村/矢後	3	SDGsの基本知識について②	SDGsとは何かを理解する
科目名	国際理解 I	時間数	34単位時間	4	SDGsの基本知識について③	SDGsとは何かを理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	SDGsの基本知識について④	SDGsとは何かを理解する
使用テキスト名	SDGs見るだけノート			6	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
補助教材	SDGs探求ワークブック			7	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
				8	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
科目概要と科目到達目標				9	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、 「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。 また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら 世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				10	地域の問題を解決するための行動とは①	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				11	地域の問題を解決するための行動とは②	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				12	地域の問題を解決するための行動とは③	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				13	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
				14	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
前期では、SDGsについての理解を深め、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、 どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。 後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				16	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
				17	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
				18	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
				19	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
				20	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
評価方法・成績評価基準				21	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
【成績評価基準】				23	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	活動の振り返り⑥	改善点の提起
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	1年間の活動報告をまとめる①	活動報告をまとめる
				29	1年間の活動報告をまとめる②	プレゼンテーションスキルを学ぶ
				30	1年間の活動報告をまとめる③	
				31	クラス内で活動報告を発表する	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	なぜ異文化理解が必要なかを学ぶ
学 科 名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	異文化コミュニケーション① ～文化とは何か～	文化とは何かを学ぶ
学 年	1年生	担当教員	中林幸恵	3	異文化コミュニケーション② ～自文化への気付き	自分を振り返る
科 目 名	異文化理解	時間数	17単位時間	4	異文化コミュニケーション③ ～異文化適応～	異文化について適応段階を学ぶ
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	異文化コミュニケーション④ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
使用テキスト名	異文化理解入門(研究社)			6	異文化コミュニケーション⑤ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
補助教材	POWERPOINT SLIDE			7	文化・文明の衝突① ～異文化に対する偏見～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				8	文化・文明の衝突② ～差別と異文化理解～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	文化・文明の衝突③ ～世界の価値観～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
異文化比較と異文化理解を深め多様性社会への対応力を高める				10	文化・文明の対話① ～文化背景の違い～日本編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				11	文化・文明の対話② ～文化背景の違い～他国編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				12	文化・文明の対話③ ～異文化の受容～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				13	文化・文明の対話④ ～非言語コミュニケーション～ケーススタディ	非言語の重要性を知り、理解を深める
				14	文化・文明の対話⑤ ～非言語コミュニケーションの種類～	非言語の重要性を知り、理解を深める
授業の進め方・学習方法・課題				15	文化・文明の対話⑥ ～多文化共生社会への参画～	多文化共生社会についてグループで話し合う
授業前半は教材に沿って「異文化」とは「コミュニケーションとは」を学ぶ				16	文化・文明の対話⑦ ～多文化共生社会への参画～発表	多文化共生社会についてグループで発表する
授業後半は異文化間で生じる問題についてグループワークで話し合い				17	期末試験	
問題解決を模索する。				18		
対面授業と遠隔授業の併用実施				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに、何故メイクするのか？授業進度・評価方法について	授業を進めるにあたっての基本ルールの理解
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	自己紹介・メイクについて絡ませながら自己紹介・自分流メイク	これまでの自分のメイクについて
学年	1年生	担当教員	加藤広美	3	普段のメイクと仕事メイクの違いについて	ビジネスメイクについての理解
科目名	リクルートメイク実習 I	時間数	34単位時間	4	接客業メイクについて 業種別メイク	ビジネスメイクについての理解
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	メイク方法 下地についての実習
使用テキスト名	なし			6	顔立ちからのメイク方法 ・ベース	メイク方法 ベースについての実習
補助教材	なし			7	顔立ちからのメイク方法 ・眉	メイク方法 眉についての実習
				8	顔立ちからのメイク方法 ・目	メイク方法 アイメイクについての実習
科目概要と科目到達目標				9	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール	メイク方法 アイホールについての実習
就職活動面接の際に良い印象を持たせ、高感度の高いメイクを目指す。				10	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール 色合い	メイク方法 アイホールについての実習
				11	顔立ちからのメイク方法 ・アイラインの入れ方	メイク方法 アイラインについての実習
				12	顔立ちからのメイク方法 ・チークの入れ方	メイク方法 チークについての実習
				13	顔立ちからのメイク方法 ・鼻筋	メイク方法 鼻筋メイクについての実習
				14	顔立ちからのメイク方法 ・コンプレックスからメイク方法 目	ワンポイントメイクの実習
				15	顔立ちからのメイク方法 ・コンプレックスからメイク方法 鼻	ワンポイントメイクの実習
授業の進め方・学習方法・課題				16	まとめ	
授業の前半でメイク方法について講義し、授業後半で実習を行う 学生は各自メイク道具を持ち込み、時間内に仕上げる。 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	試験	
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Chapter1 Wordの基本ー(Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方)	基本操作の理解
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	選択必修	2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
学年	1年生	担当教員	今井真由美	3	Chapter2 文字入力と基本操作ー(新規文書の作成・日本語入力システム)	文字入力について
科目名	PC実習 I	時間数	68時間	4	文字入力と基本操作ー(文字の入力と変換・単語の登録)	文字入力について
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	文字入力と基本操作ー(文書の保存・文字の選択)	文字入力について
使用テキスト名	Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター			6	文字入力と基本操作ー(文字列の編集・コピー・移動)	文字入力について
補助教材	Word /Excel文書処理技能認定試験 問題集			7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
科目概要と科目到達目標				8	Chapter3 文書の編集ー(学習する内容・ページ書式設定)	文章の編集について
Word処理技能検定3級取得				9	文書の編集ー(文字の書式設定・文字幅と間隔の設定)	文章の編集について
Excel表計算処理技能認定試験3級 取得				10	文書の編集ー(文字の配置・字下げと行間の設定)	文章の編集について
				11	文書の編集ー(禁則処理・罫線と網掛け)	文章の編集について
				12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
				13	Chapter4 文書の印刷ー(学習する内容・改ページの挿入)	印刷について
				14	文書の印刷ー(ヘッダー・フッターの設定)	印刷について
授業の進め方・学習方法・課題				15	文書の印刷ー(印刷イメージの確認方法・印刷の実行)	印刷について
Word処理技能検定3級・Excel表計算処理技能認定試験3級 合格				16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について
3級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方				17	Chapter5 文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/あいさつ文)	文章フォーマットについて
など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ				18	文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/段落番号・設定)	文章フォーマットについて
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	文書の作成ー(箇条書きの設定・タブ)	文章フォーマットについて
				20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて
評価方法・成績評価基準				21	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)①	文章フォーマットについて
				22	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)②	文章フォーマットについて
①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて
【成績評価基準】				24	Chapter6 表を使った文書の作成ー(学習する内容・表の作成)	表の作成について
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	表を使った文書の作成ー(表の選択方法・表の編集)	表の作成について
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	表を使った文書の作成ー(表の装飾・文字列から表を作成する)	表の作成について
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成ー(学習する内容・図形の作成)①	図形や画像作成について
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の作成)②	図形や画像作成について
				30	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)①	図形や画像作成について
				31	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)②	図形や画像作成について
実務経験教員の経歴				32	図形や画像を使った文書の作成ー(横書きテキスト ボックスの挿入・ワードアートの挿入)	図形や画像作成について
				33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について
				34	総合学習問題・テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	はじめに マナーの必要性	身だしなみについての理解と実習
学年	1年生	担当教員	北村 裕美	2	身だしなみについて おしゃれと身だしなみについて	身だしなみについての理解と実習
科目名	ビジネスマナー演習	時間数	34単位時間	3	身だしなみについて ビデオ撮影	身だしなみについての理解と実習
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	身だしなみについて ビデオ撮影 チェック	身だしなみについての理解と実習
使用テキスト名	実践ビジネスマナー			5	お辞儀 ・立ち方	美しい挨拶についての理解と実習
補助教材				6	お辞儀 ・立ち方 3つのお辞儀 ・使い方	美しい挨拶についての理解と実習
科目概要と科目到達目標				7	お辞儀 ①	美しい挨拶についての理解と実習
				8	お辞儀 ②敬礼	美しい挨拶についての理解と実習
				9	お辞儀 ③最敬礼	美しい挨拶についての理解と実習
社会人としての立居振舞や面接や初対面の方がへの挨拶の仕方など 基本的なビジネスマナーの理解と習得				10	お辞儀 ビデオ撮影	美しい挨拶についての理解と実習
				11	お辞儀 ビデオ撮影チェック	美しい挨拶についての理解と実習
				12	入退室の仕方 ・ドアの開閉の仕方 ・表情 ・身だしなみ等	入退室マナーについての理解と実習
				13	入退室の仕方 ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
				14	入退室の仕方 ビデオ撮影チェック	入退室マナーについての理解と実習
				15	椅子の座り方 ・面接対応①	入退室マナーについての理解と実習
授業の進め方・学習方法・課題 授業前半には講義を行うが、後半はロールプレイングを行い、基本的な所作などを身に付ける。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	椅子の座り方 ・面接対応②	入退室マナーについての理解と実習
				17	一連の動作のロールプレイ ・入退室 お辞儀 着席 面接対応①練習	入退室マナーについての理解と実習
				18	一連の動作のロールプレイ ・入退室 お辞儀 着席 面接対応②練習	入退室マナーについての理解と実習
				19	ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
				20	ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
評価方法・成績評価基準				21	ビデオ撮影 チェック	入退室マナーについての理解と実習
				22	ビデオ撮影 チェック	入退室マナーについての理解と実習
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	言葉遣い ・敬語の使い方 尊敬語・謙譲語・丁寧語	敬語についての理解と実習
				24	言葉遣い ・敬語の使い方 間違った使い方 ・二重敬語	敬語についての理解と実習
				25	言葉遣い ・接客用語	敬語についての理解と実習
				26	言葉遣い 筆記テスト	敬語についての理解と実習
				27	言葉遣い 解答と解説	敬語についての理解と実習
				28	来客対応 ・案内の要領 ・応接室	来客対応についての理解と実習
				29	来客対応 ・エレベーター ・廊下	来客対応についての理解と実習
				30	来客対応 ・ロールプレイ ビデオ撮影①	来客対応についての理解と実習
				31	来客対応 ・ロールプレイ ビデオ撮影②	来客対応についての理解と実習
				32	来客対応 ・ロールプレイ ビデオ撮影チェック	来客対応についての理解と実習
実務経験教員の経歴				33	まとめ	
				34	試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	韓国語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	SUCCESS P6～P11 就職活動の心構え ①なぜ就職するのか②企業が求める人材とは③身だしなみ	就職活動についての基本知識
学年	1年生	担当教員	中林幸恵	2	SUCCESS P12～P16 就職活動の心構え①就職活動の流れ②就職活動のルールと諸注意③求職登録について	就職活動についての基本知識
科目名	就職実務 I	時間数	34単位時間	3	SUCCESS P17～P20 ①自分自身を知る②自己分析で考えるポイント	自己分析について理解と実習
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	SUCCESS P21 ①自己PRの作り方	自己分析について理解と実習
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			5	SUCCESS P24 ①現在までの自己史を作成しよう	自己分析について理解と実習
補助教材				6	SUCCESS P25 ①自己PR分の基本構成作成	自己分析について理解と実習
科目概要と科目到達目標 就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				7	SUCCESS P27～29 ①職業を知る（業種と職種の理解）	自己分析について理解と実習
				8	SUCCESS P30～P31 志望動機 ①志望動機とは何か②基本パターン	志望動機について理解と実習
就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				9	SUCCESS P32～P34 志望動機 ①志望動機作成ワークシート(専門職・営業)	志望動機について理解と実習
				10	SUCCESS P35～P37 情報収集のポイント ①職種企業を絞り込むには	企業研究の方法を理解する
				11	SUCCESS P38～P39 企業研究の方法 ①就職課の利用②就職情報サイトの利用 ③就職情報誌について	企業研究の方法を理解する
				12	SUCCESS P40～P41 就活における電子メール使用の注意点 ①企業へのメールの書き方②返信の文例	企業研究の方法を理解する
				13	SUCCESS P42 facebook twitterの活用について	企業研究の方法を理解する
				14	SUCCESS P43～P44 資料請求の仕方(はがきの場合、メールで請求の場合)	企業研究の方法を理解する
授業の進め方・学習方法・課題				15	SUCCESS P45 お礼状の書き方①メールの場合②手紙の場合	企業研究の方法を理解する
自己分析や書類作成は学生の書いたものを教師が添削指導行う。 面接指導は模擬面接を通して、何をどう話すべきかを学生みんなで考える。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	SUCCESS P46～48 求人票の見方①求人者②採用条件③勤務条件	企業研究の方法を理解する
				17	SUCCESS P49～50 インターンシップのしくみ ①インターンシップ体験の活かし方	企業研究の方法を理解する
				18	SUCCESS P51～P52 作成書類 ①エントリーシートとは②エントリーシートの書き方	エントリーシート作成方法と実習
				19	SUCCESS P53 作成書類 ①エントリーシートの入手時期と内容	エントリーシート作成方法と実習
				20	SUCCESS P54～55 作成書類 ①履歴書の書き方①記入事項のポイント	履歴書作成方法と実習
評価方法・成績評価基準				21	SUCCESS P56～P57 第一回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書作成方法と実習
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	SUCCESS P56～P57 第二回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書作成方法と実習
				23	SUCCESS P58 応募書類の添え状について	履歴書作成方法と実習
				24	最新最強の一般常識 時事問題 政治 国際情勢	時事問題の理解
				25	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済の基礎知識の確認	時事問題の理解
				26	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済情勢を把握する	時事問題の理解
				27	最新最強の一般常識 時事問題 産業①産業界の分析②労働に關した法律	時事問題の理解
				28	最新最強の一般常識 時事問題 金融①金融用語の把握②金融商品	時事問題の理解
				29	最新最強の一般常識 時事問題 科学技術①コンピューター用語	時事問題の理解
				30	最新最強のSPI SPIの基礎知識 SPI適正検査とは	SPI対策
				31	最新最強のSPI 非言語能力問題	SPI対策
実務経験教員の経歴				32	最新最強のSPI 非言語能力問題	SPI対策
				33	最新最強のSPI 言語能力問題	SPI対策
				34	最新最強のSPI 言語能力問題	SPI対策